



# 高子連だより

No. 4 4

平成17年 1月31日発行

## 年頭の御挨拶



会長 山 中 國 保

会員の皆様、明けましておめでとうございます。日頃は、県下各地でまた各場面で、次代を背負う子どもたちのために活動されるとともに、県子連への暖かいご協力ご指導を賜りまして心より感謝申し上げます。今年県子連は、創立以来三十路の後半に入りました。今年も、歴史を築いた先達の熱い情熱に思いをはせながら共に活動してまいりたいと思いますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。

ところで、酉年は昔から「荒れる」などマイナスイメージの年だとの話も聞かれます。

以下蛇足ながら、戦後60年間の酉年の出来事を少し拾ってみました。

1945年 原爆投下（8 / 6 広島14万±1万人死、8 / 9 長崎7万±1万人死）、第二次世界大戦終る、リンゴの歌流行、1957年 勤評闘争、ソ連スポーツニク1号、南極に昭和基地、石原裕次郎人気、1969年 新全国総合開発計画、米アポロ11号人間月面へ、東名高速道全通、男はつらいよ、1981年 中国残留日本人孤児47名初来日、宅急便、窓ぎわのトットちゃん（10ヶ月で400万部）、1993年 皇太子ご結婚、細川内閣誕生などがあります。この中には、いくつかのプラスイメージもありますが、またこのところ大震災、イラク問題、国内の深刻な不況等もあります。

昨年末、中央教育審議会他は、子どもたちの友人とのかかわり方、自制心など子どもたちが育つうえでの課題、成長、発達に大切な集団活動や異年齢交流の不足などを指摘しています。

今こそ子ども会の出番です。地域で子どもを見守り育て充実した年、熟する、できあがるなどの意味をもつ酉年でありませう共に頑張りましょう。

## 第29回高知県子ども会育成中央会議高知市で開催される

第29回県子ども会育成中央会議が12月19日（日）高知市の県立ふくし交流プラザで60名参加のもと盛大に開催された。山中國保会長の開会挨拶に続き、来賓として、県教委こども課課長岡崎順子様、高知市教委青少年課課長成岡賢一様、県議で顧問の西森潮三様のご祝辞をいただき、続いて16年度高子連表彰が行われた。受賞は優秀子ども会として、天王子ども会（いの町）優秀指導者として戸田涼子、細川一恵（以上高知市）山脇薫、藤岡和子（以上須崎市）西尾和之氏（南国市）の5名、優秀育成者として、高橋早雄、山中昭二（以上いの町）徳広朗、小松睦生氏（以上安芸市）の4名、合計9名。研修では、前中国・四国地区子ども会連絡協議会会長・前広島県子ども会連合会会長の小島厚先生をお迎えし、「広め深め楽しい子ども会にするために～私の体験から」のテーマで、単位子ども会の結成から育成者、指導者としての活動発表をしていただき参加者に感動を与えました。続いてコース別研修を行い、最後の閉会式では、“今日の日 はさようなら”を合唱して盛会裡に終了した。



講師の小島厚先生



表彰を受ける天王子ども会代表の  
矢野美月さん



受賞者を代表して西尾和之様が  
謝辞をのべました

## コース別研修

救急・応急実技



ゲーム・レクリエーション



バルーンアート



## 高子連市町村合併問題検討委員会設置

市町村合併は全国的な問題であり、高子連としても重要課題であるため、委員会を設置して検討することになりました。第1回目の委員会は12月27日に開催され、年会費の問題、未加入市町村への対策、退会子連への対応等が協議されました。今年は県下の市町村合併が見込まれることから、その推移を見ながら今後度々開催しその対応策について協議することを確認して閉会しました。

委嘱された委員はつぎの方々です。

中澤秀夫	相談役(元高子連会長)	山中国保	会長
池上隆一	名誉会員(同)	西内昭男	副会長
小倉卓	理事(前同副会長)	杉村高晴	副会長

## 第35回中国・四国地区子ども会育成研究協議会開催される

平成16年11月6日(土)～7日(日)の1泊2日の日程で徳島市徳島グランドホテル偕楽園で開催されました。昼前から中国・四国の仲間350名が集まり、高知県からも29名が参加しました。開会式に続き16年度の表彰が行われ、個人表彰で高知県からは濱田雅土さん(南国市)岡本晟子さん(高知市)が表彰され配偶者(二人とも出席)に感謝状が贈られました。

大会テーマは『温かいまちづくりは、子ども会から』  
～子ども会の原点を見つめましょう～  
～子どもと共に遊び、共に学びましょう～で

6部会に別れて討議が行われましたが、第4部会では高知市子連のシニア・リーダーズクラブの下村真未さんが「子ども好きの中高生リーダーを育てる」～(今私たちがするべき事は何か)のテーマで事例発表をし、好評とともに激励されました。幾つかの部会では、～市町村合併と子ども会組織の取り組み～が討議されました。(市町村合併が、どの地域においてもなされている。しかし、行政の方が子ども会の方にまで見えてないのが現状である)と言った助言者もいました。高子連からの参加者もそれぞれの部会で研修を受けましたが、今後の活動に活かされることを期待します。



### 第35回中国・四国地区子ども会育成研究協議会に参加して

高知市長浜築山子ども会 岡本 晟子

今回徳島で開催されました中・四国育成研究協議会に主人とともに参加させていただきました。

会場では皆さん顔見知りの方達が挨拶したり、和やかな雰囲気ではじめました。来賓の方の祝辞をいただき個人表彰に移り、今回は個人表彰をいただく事になっていましたので、少し緊張していました。主人も感謝状をいただきました。二人して表彰していただく事は築山子ども会の皆さんの協力があったので、皆さんを代表して私がいただくのだと思い感謝していただきかせてもらいました。ありがとうございました。

基調提言では、「子ども会第2次5ヵ年計画と新ビジョン」という題で宇田川先生の講演。先生はレクリエーションを通して子ども達とのふれ合いなど、リーダーを育てるための育成者、指導者のかかわり方などを話してくれました。

部会になり、私と主人は第2部会でした。テーマは「地域(単位)子ども会の活動事例に学ぶ(都会、まち)」でした。松江の岩元さんが「城北あそび塾」を発表されました。色々の遊びの中で子ども達とのふれ合いを通して、心の絆そして地域とのかかわり方など参考になりました。岡山の池田さんの発表は、単位子ども会をテーマにした事でしたので私達の子どもの会と同じ様な事かなと思ったのですが、少し違うのは球技活動などが入っている事でした。共通の問題になったのは、子どもが少なくなった事、親が進んで子ども会などに参加しなくなった事などが話し合われました。

2日目の記念講演は「日本人の子育て」という題で、徳島大学教授三浦先生のお話でした。大学の先生だから、むずかしい話かなと思っていたのですが、これがなかなかユニークで、身ぶり手ぶりであっという間の時間でした。

2日間の研修は楽しく有意義でした。これからも楽しく子ども会とかかわっていきたくと思っています。

## 木と緑フェア都市緑化祭の募金活動に参加して

高知県子ども会連合会 副会長 西内 昭 男

この行事は昨年10月16日（土）高知市の中央公園を会場に「2004木と緑のフェアと都市緑化祭」実行委員会（高知県、高知市、社高知県森と緑の会など森林に関係するいろいろな団体が連携）が主催した行事です。

われわれ高知県子ども会連合会緑の少年団は、緑の募金活動に参加することになり、南国市、高知市、いの町の子ども達、ジュニア・リーダー、指導者、計15名で参加しました。

募金箱や、旗、緑の羽など、準備を整え午後1時より会場内で、森と緑の会理事長の挨拶があり出発式を行いました。帯屋町や大丸周辺の3箇所で、募金活動を行うこととなりました。緑の少年団の子どもたちは最初、恥ずかしいのか声も小さかったが、だんだん慣れてくると声も大きくなり、ニコニコと道歩く人たちに協力を、呼びかけていました。「なかなか入れてくれんねエ」とか、「すごい1,000円も入れてくれたで」といいながらの活動でしたが、子ども達も、緑の大切さに少し興味を持ったようでした。

今年3月下旬には、「緑の少年団高知大会」が、7月には「緑の少年団全国大会」がそれぞれ高知県内で開催されます。その大会に向けて緑の少年団活動も活発に活動を進めていきたいと思っておりますので、ご指導とご協力をおねがいいたします。



緑の募金活動に参加した子ども達（帯屋町にて）

## 高知市子連創立30周年記念式典開催される

高知市子連の30周年記念式典が、10月24日（日）「高知市文化プラザかるぼーと」で開催されました。式典には姉妹緑組を結んでいる、尾道市子ども会育成連合協議会会長の末留勇様ほか、松江市子ども会育成協議会連合会会長の磯田謙一様はじめ、その他育成者、指導者、ジュニア・リーダー等多数出席されました。特別表彰や、記念講演のあと、午後からの子どもフェスティバルでは、神田太鼓、どろんこ踊り、よさこいメドレーが子どもたちによって披露され、最後のお楽しみ大会ではゲーム・バルーンアートなどを楽しみ盛大に記念事業を終わりました。



開会の挨拶をする杉村高晴会長

## 高子連中央ブロック育成研究協議会の研修会開催される

中央ブロック育成研究協議会の研修会が1月23日（日）いの町の県立高知青少年の家で開催されました。これは、南国、土長、高知、吾川地区子連よりなる中央ブロック協議会（西内昭男会長）が「子ども会活動における理論と方策を研修し、情報交換を行い、子ども会活動の振興・活性化を図る」ことを目的に開催したものです。1時の開会に続き、高知市子連事務局長の加藤用子さんの指導で、いま全国的に大人気のバルーンアートの実技。続いて県生涯学習研究所長

で、高子連専門員でもある明神宏先生の『地域密着人材開発型子ども会を目指して』と題しての講演がありました。その中で、「今なにかをやる時、重大な条件が3つある。1、面白い 2、楽しい 3、メリットである、1つ欠けても無理。 地域活動

高齢者との提携或は連携 マイタウン アドベンチャー（私の町の探検隊）等地域でやることはいくらでもある。」と言った内容の話しをお聞きし盛会裡に終了しました。



近くで撮ったらシワが写る、と笑わず明神先生



小さな輪が大きな1つの輪になりました



## 第35回県ジュニア・リーダー講習会（後期）開催される 基礎的な理論と実技指導の方法の学習をめざして

今年度のジュニア・リーダー講習会をしめくくる後期講習会が、平成16年11月20日（土）21日（日）の両日県立青少年センターで開催されました。基礎的な理論と実技指導の方法に加え、ジュニア・リーダーズクラブの創立ということもあって高学年JLの参加者が多く、充実した講習会となりました。



### 県ジュニア・リーダー講習会（後期）に参加して

中土佐町子ども会連合会 久礼中1年生 奥田 祥介

ジュニア・リーダー講習会は2回目でしたが、1回目は西部で受けたので、東部は初めてでした。

僕は、この講習会で自分が一回りも二回りも成長したように思います。それは、いままで何となく活動していた子ども会が、ジュニア・リーダーの心得を教えてもらって、自分たちが大切な役割を持っていることを知ったからです。そして、大きな声を出すことができたダンスも楽しくおどることができました。友達もたくさんできました。

それから、いちばん心に残っているのは、スタンプ作りでした。班の中で何度も話し合い、みんなの意見がたくさん出て、1つの物語ができていくのが感動そのものでした。スタンプ作りは、仕上がりよりも作り上げていくことが、みんなの気持ちをひとつにしていく大切なことだと感じました。

地域の子ども会を意味あるものにしていくため、これからも、講習会に参加していきたいと思います。

## 県ジュニア・リーダーズクラブ創立 ～よりよい活動をめざして～

クラブの創立については度々話し合ってきましたが、第35回ジュニア・リーダー講習会（後期）（平成16年11月20～21日県立青少年センター）の終了後、創立総会を開催し、よりよい活動をめざして、今後どうあるべきかを討議し、会則

の決定と代表理事3名を選任しました。具体的な活動、役員選任等については、高子連執行部を含めて、話し合うことを確認して閉会しました。

（なお会則については次号に掲載します）

代表理事に選任された3名



植田浩光君  
（いの町）



藤田拓郎君  
（高知市）



西口 純君  
（高知市）

子ども会活動の  
ハンドブック

**高知の子ども**  
（平成16年11月）



八百円

問い合わせは  
高知県子ども会連合会事務局  
まで  
TEL 088-875-0439

### 各部の紹介（広報部）

（次回は地域組織部を紹介します）

担当副会長	戸田 文夫	高子連副会長・南国市子連会長
部長	大野 繁延	同 理事
部員	吉永 宣生	同 常務理事
々	小松 敏郎	同 理事・高知市子連副会長
々	西込 浩一	同 理事・春野町子連会長
々	二宮 大	南国市子連副会長 H15年度全子連広報活動推進講習会終了者
々	加藤 用子	高知市子連事務局長 H15年度全子連実技指導者講習会終了者

「高子連だより」に掲載しますので、市町村子連の行事を事務局までお知らせ下さい。（電話）088-875-0439

発行 (社)高知県子ども会連合会  
〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号  
TEL 088-875-0439  
FAX 088-872-6211